
CommonMP-GIS 地形図データ インストール手順書
目 次

1. 概要	1-1
2. 必要動作環境	2-1
2.1 CommonMP-GIS のインストール	2-1
2.2 基本地図データのインストール	2-1
3. インストール対象となる地形図データ	3-1
4. 操作手順	4-1
4.1 地形図インストール手順	4-1
4.2 設定ファイルの変更	4-2
4.3 CommonMP-GIS の設定	4-2
5. 地図データのアンインストール	5-1

1. 概要

本手順書では、CommonMP-GIS 用の地形図データをインストールする手順について記述します。

2. 必要動作環境

CommonMP-GIS 用の地形図データのインストール前に、CommonMP-GIS のインストールと基本地図データのインストールが必要です。インストールを実施する前に、以下の事項を確認してください。

2.1 CommonMP-GIS のインストール

CommonMP Web サイトよりインストーラをダウンロードし、付属のインストール手順書に従いインストールされていること。

2.2 基本地図データのインストール

CommonMP Web サイトから、「NASA 簡略衛星画像+標準衛星画像」又は「NASA 簡略衛星画像」をダウンロードし、CommonMP-GIS がインストールされている PC の任意の位置に解凍されていること（解凍した基本地図データはフォルダ名：data の直下に格納される。その構成を、表 2.1 に示します）。

表 2.1 基本地図データの構成

No	ファイル または フォルダ名	説明
1	basemap	NASA の衛星画像（90m メッシュ）のフォルダ
2	layers	レイヤの定義のフォルダ
3	GISS.mdb	住所検索用のデータベースファイル
4	dataset.ini	地図データの定義ファイル

3. インストール対象となる地形図データ

本手順書でインストール対象となる地形図データを表 3.1 に示します。

表 3.1 対象となる地形図データ

NO.	格納データ	種別	レベル	提供範囲
1	数値地図 50m メッシュ	dem	10-12	日本
2	25000 地図画像	texture	10-12	日本

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000(地図画像)、数値地図 50mメッシュ(標高)を複製したものである。(承認番号 平 21 業複、第 585 号)この地図を、複製する場合には、国土地理院の長の承認を得る必要があります。

提供しているエリア全体を図 3.1 に示します。また、図 3.2 から図 3.10 に分割したエリアとその番号を示します。図中のエリア内に記載されている番号に拡張子「.lzh」を付加したものがダウンロードしていただく地形図データのファイル名となります。例えば、「9176-1362」の地形図データのファイル名は「9176-1362.lzh」となります。

* 地形図データの作成には、Micco 氏作成のフリーソフト UNLHA(32).DLL を使用しております。

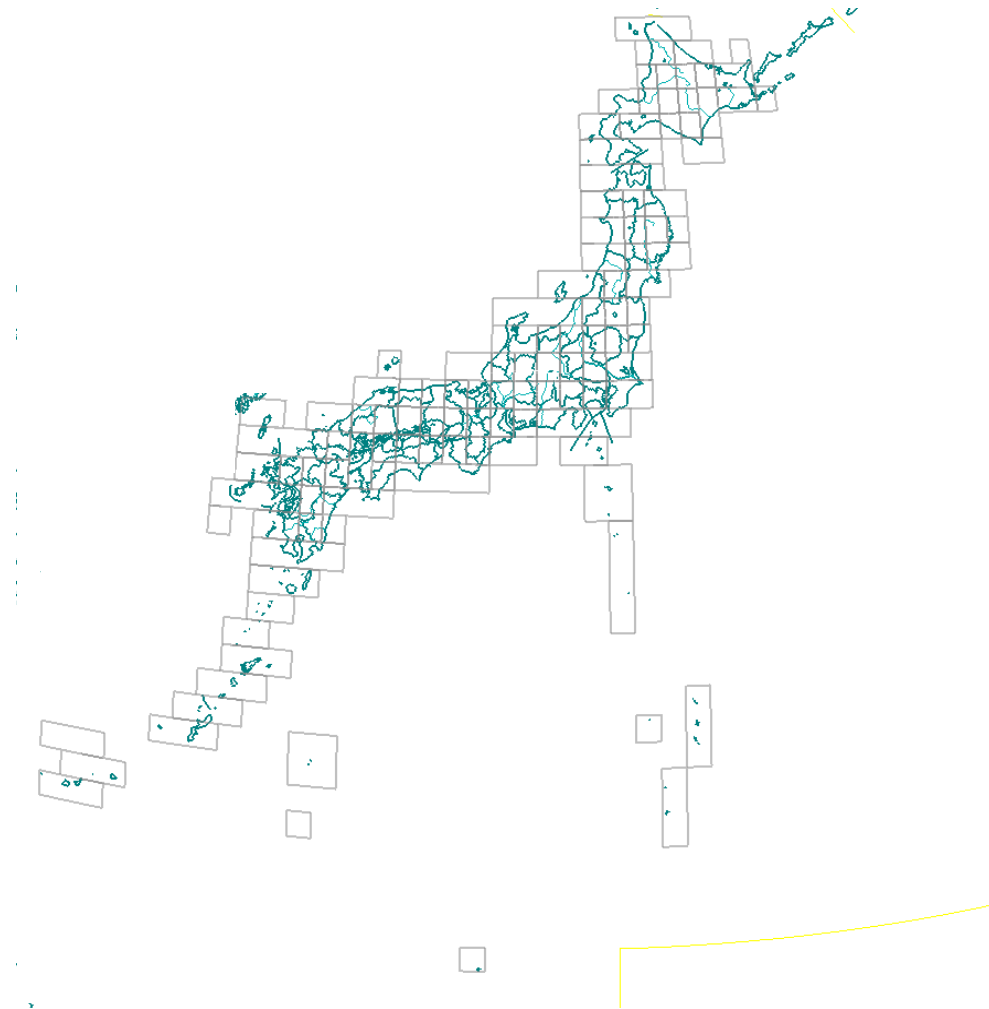


図 3.1 エリア全体図

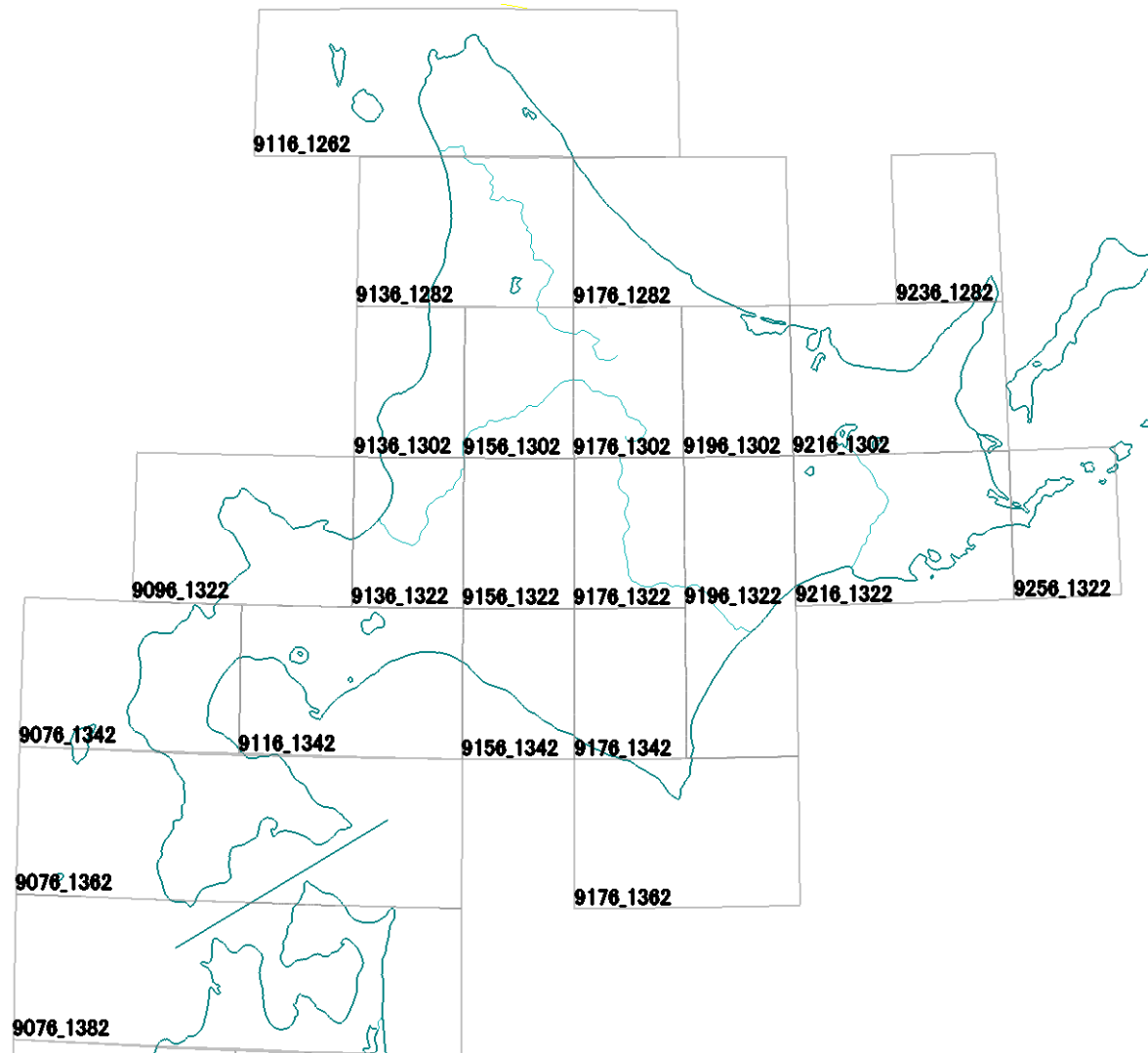


図 3.2 分割エリア 1

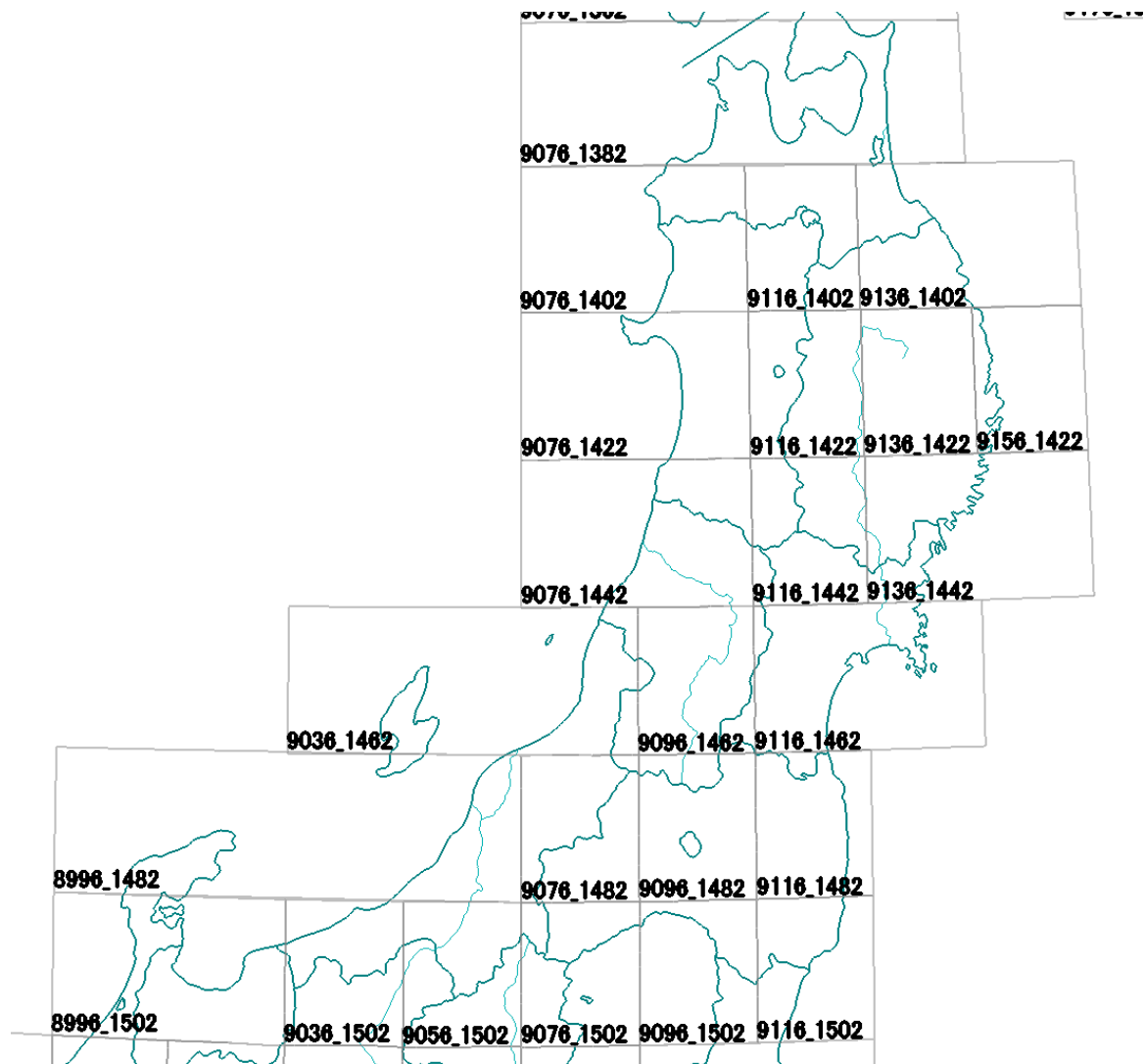


図 3.3 分割エリア 2

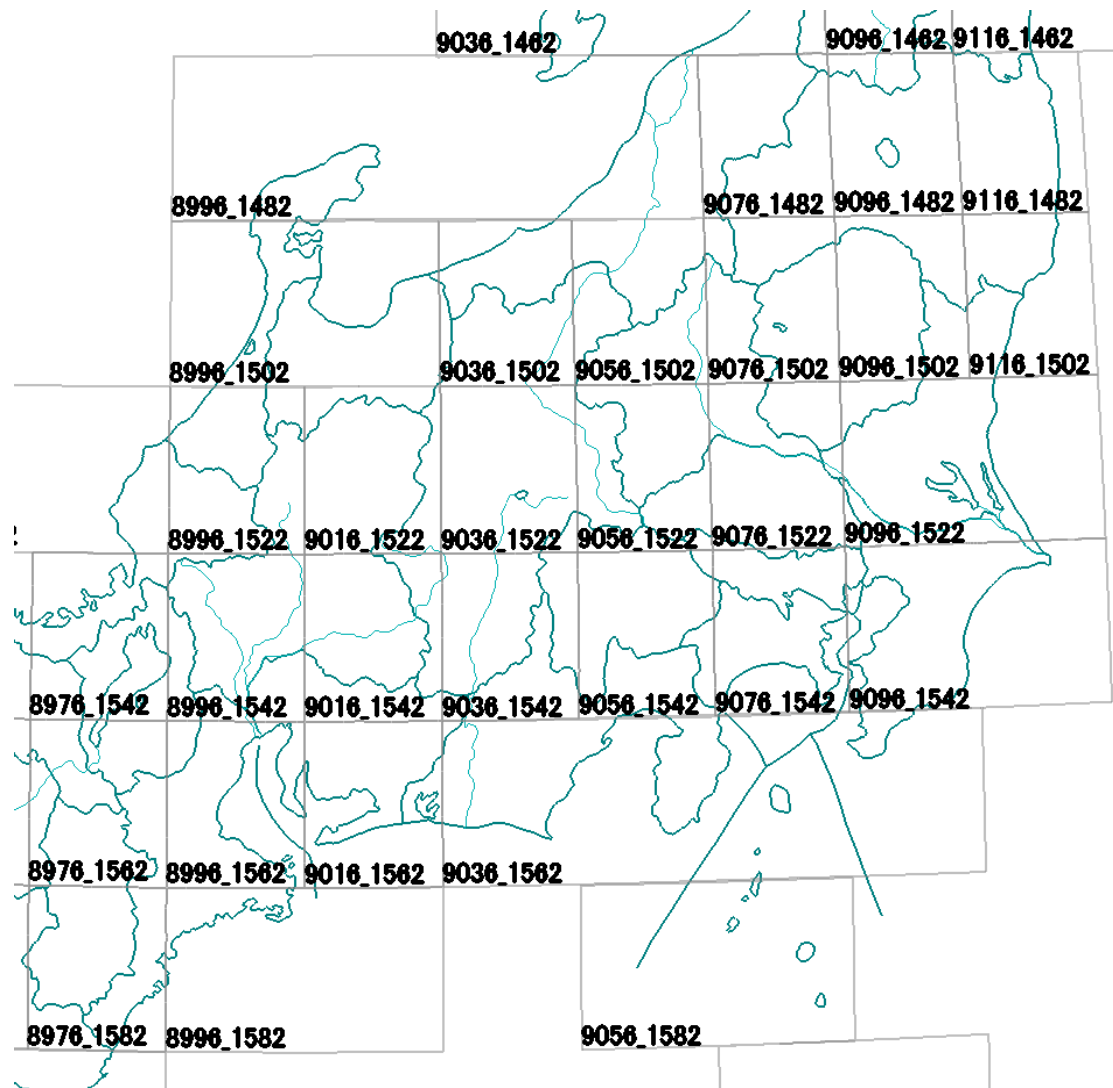


図 3.4 分割エリア 3

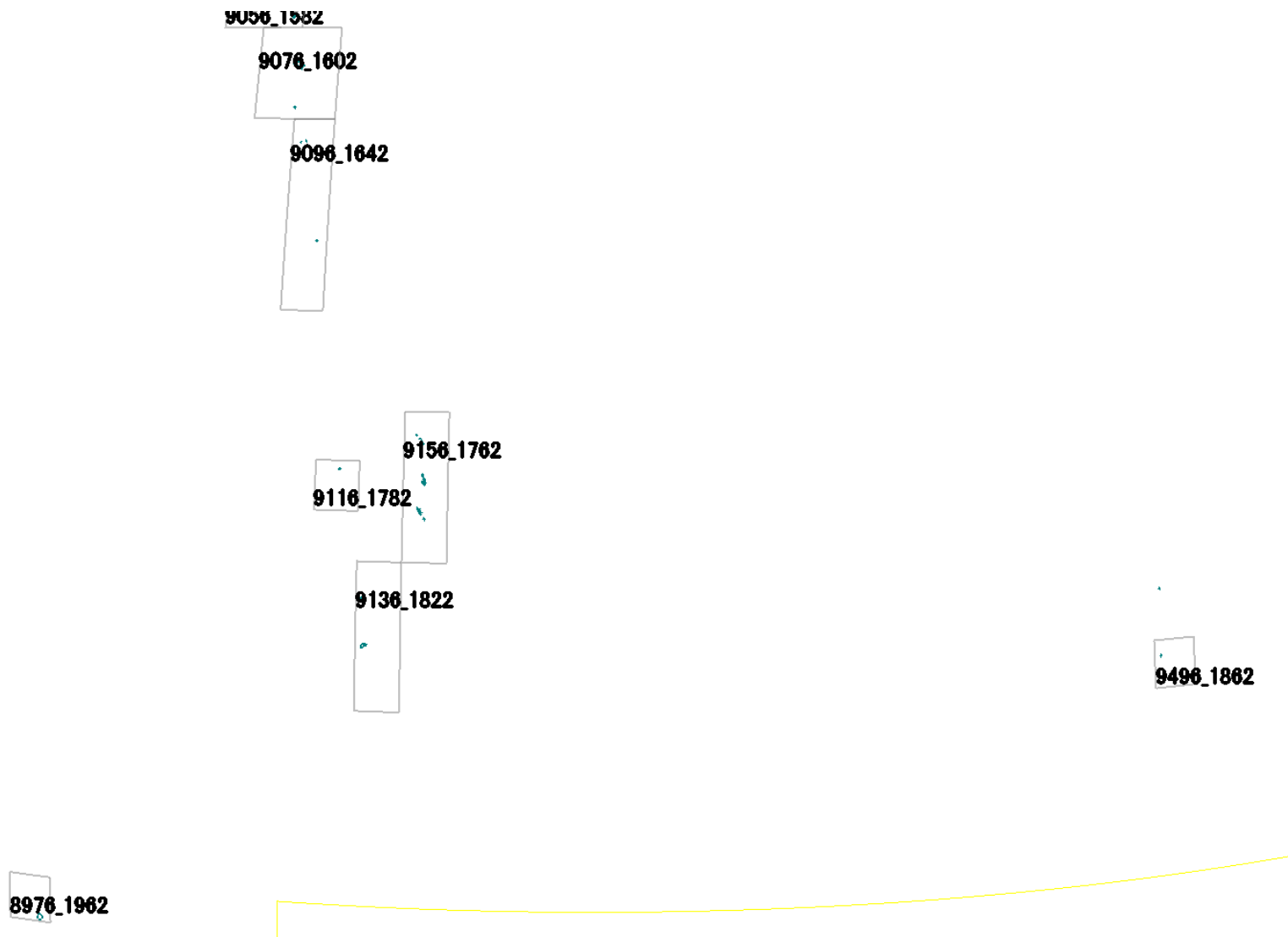


図 3.5 分割エリア 4(東京都 離島)

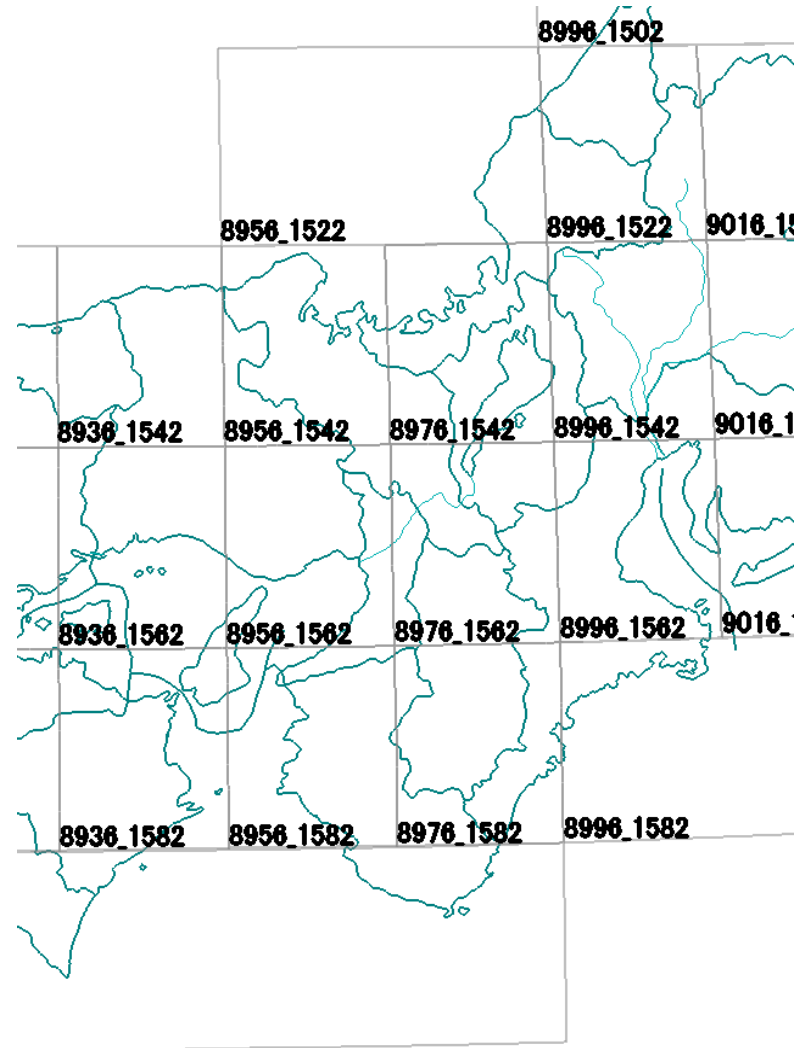


図 3.6 分割エリア 5

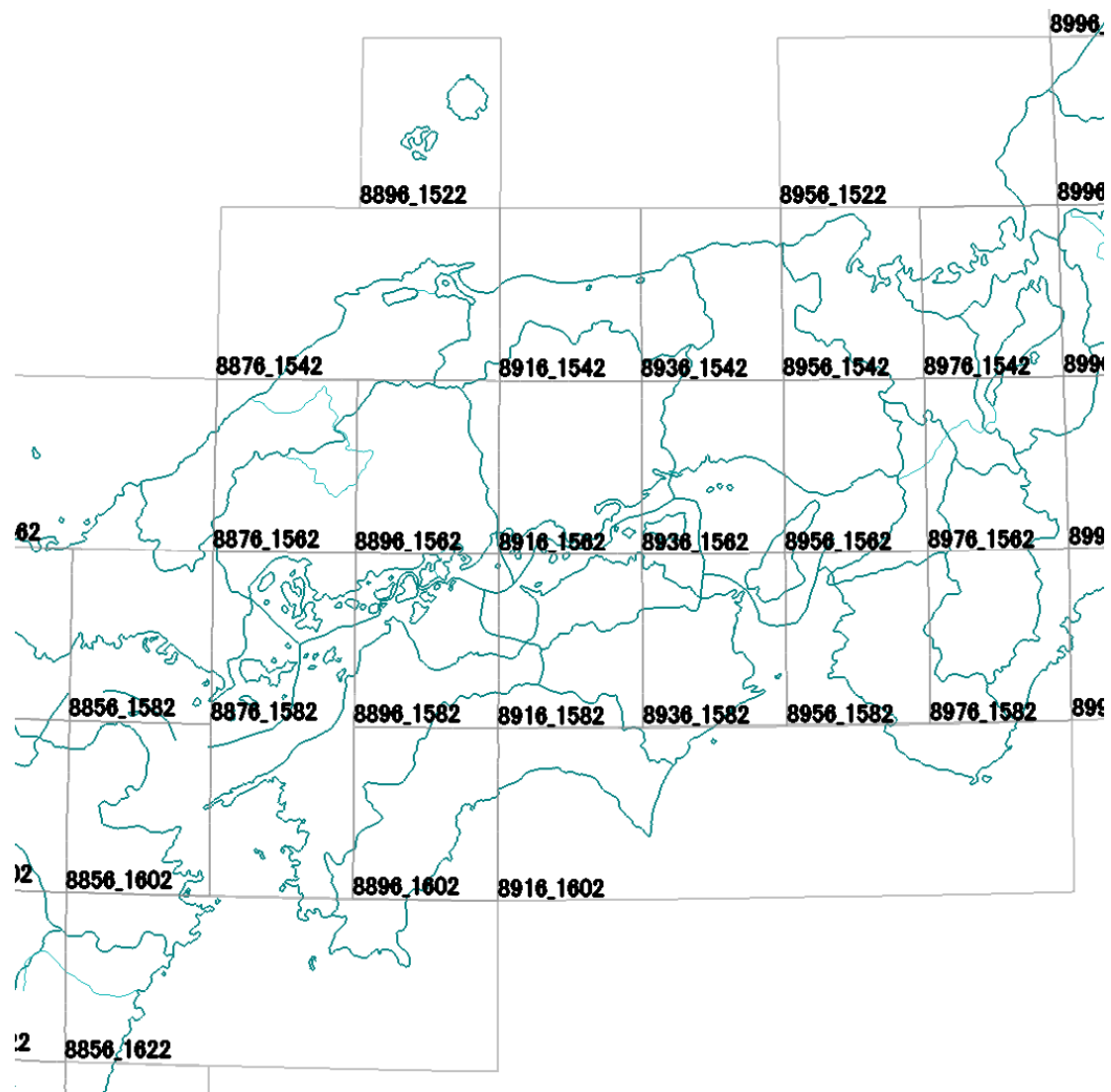


図 3.7 分割エリア 6

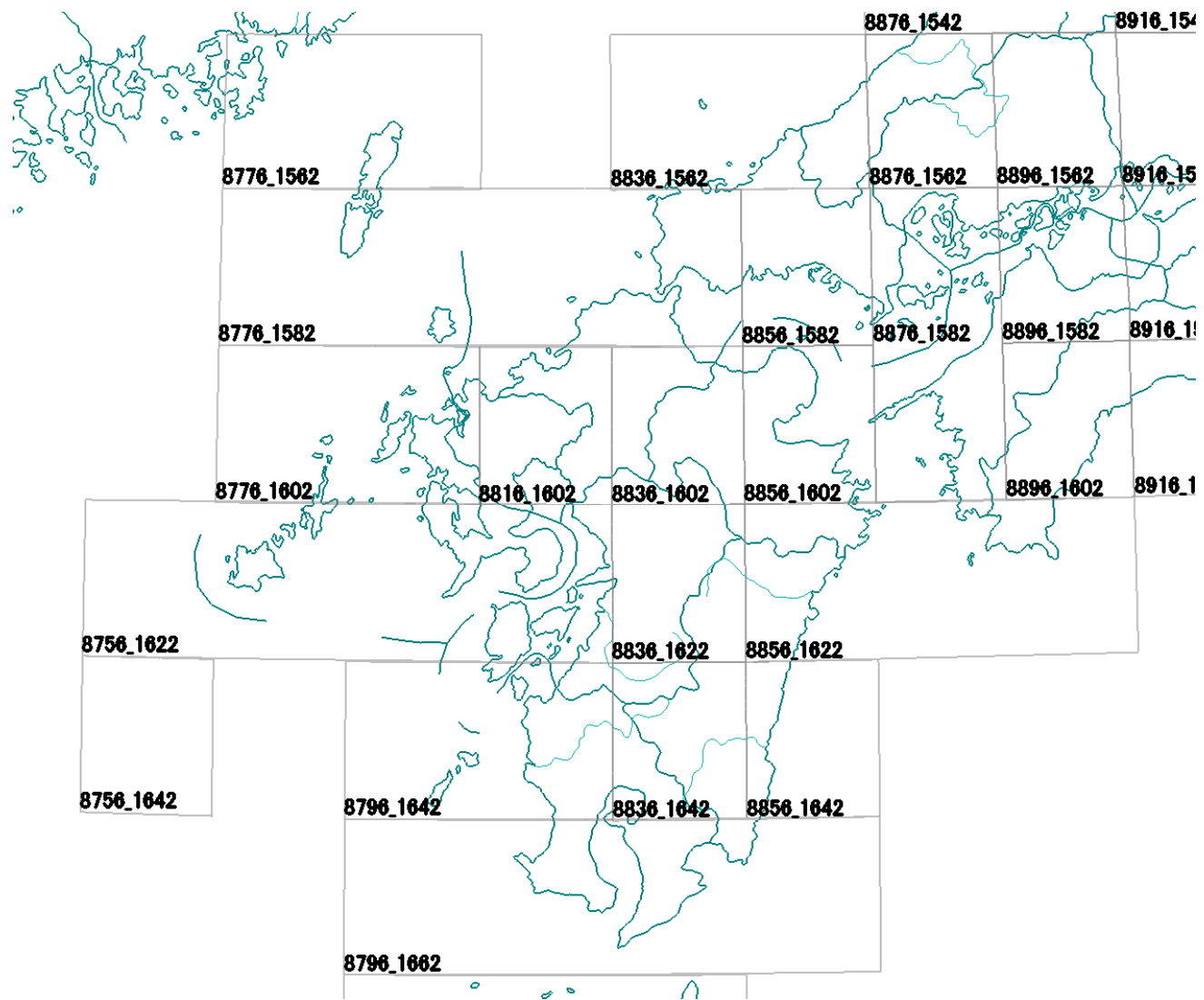


図 3.8 分割エリア 7

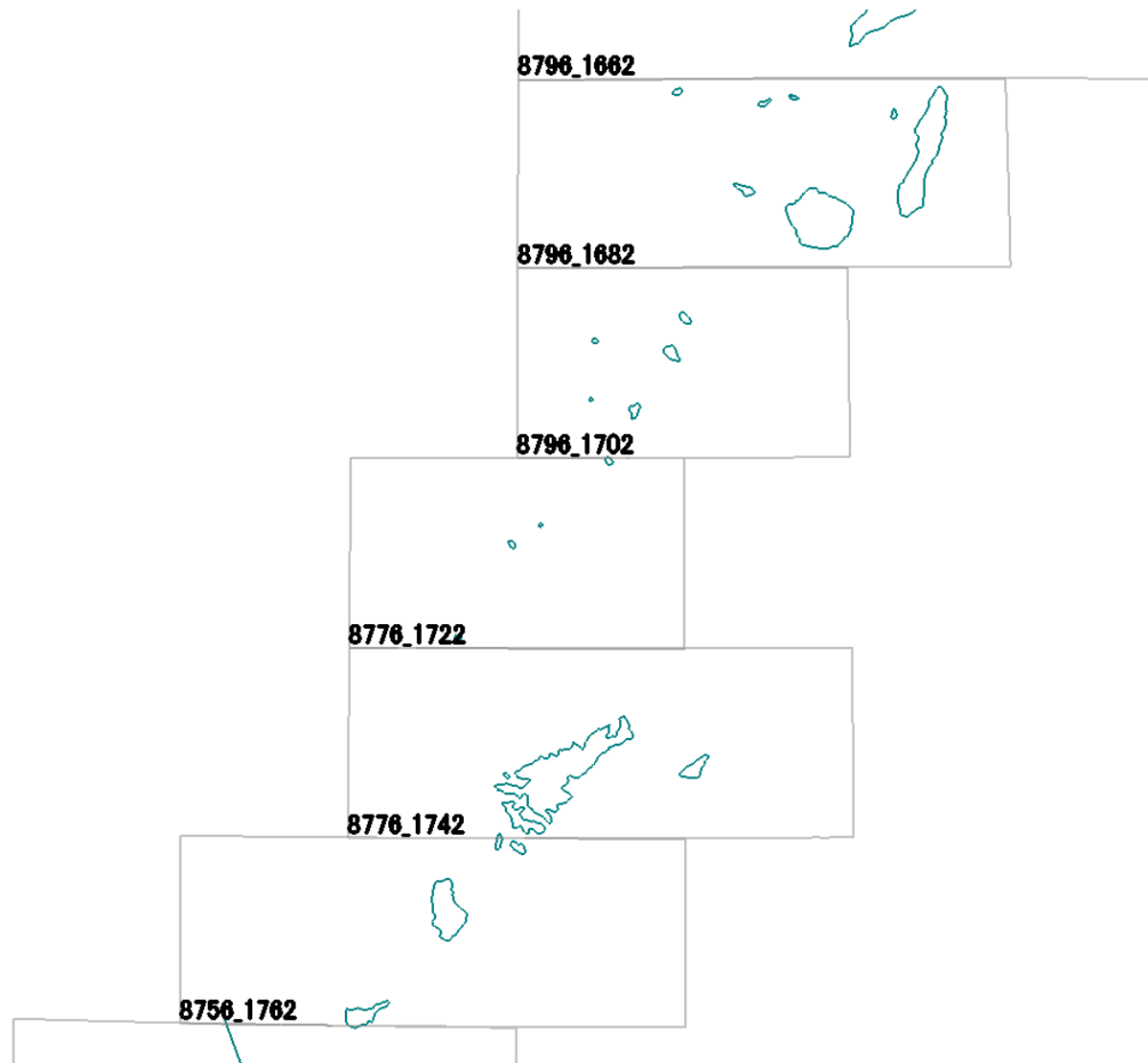


図 3.9 分割エリア 8

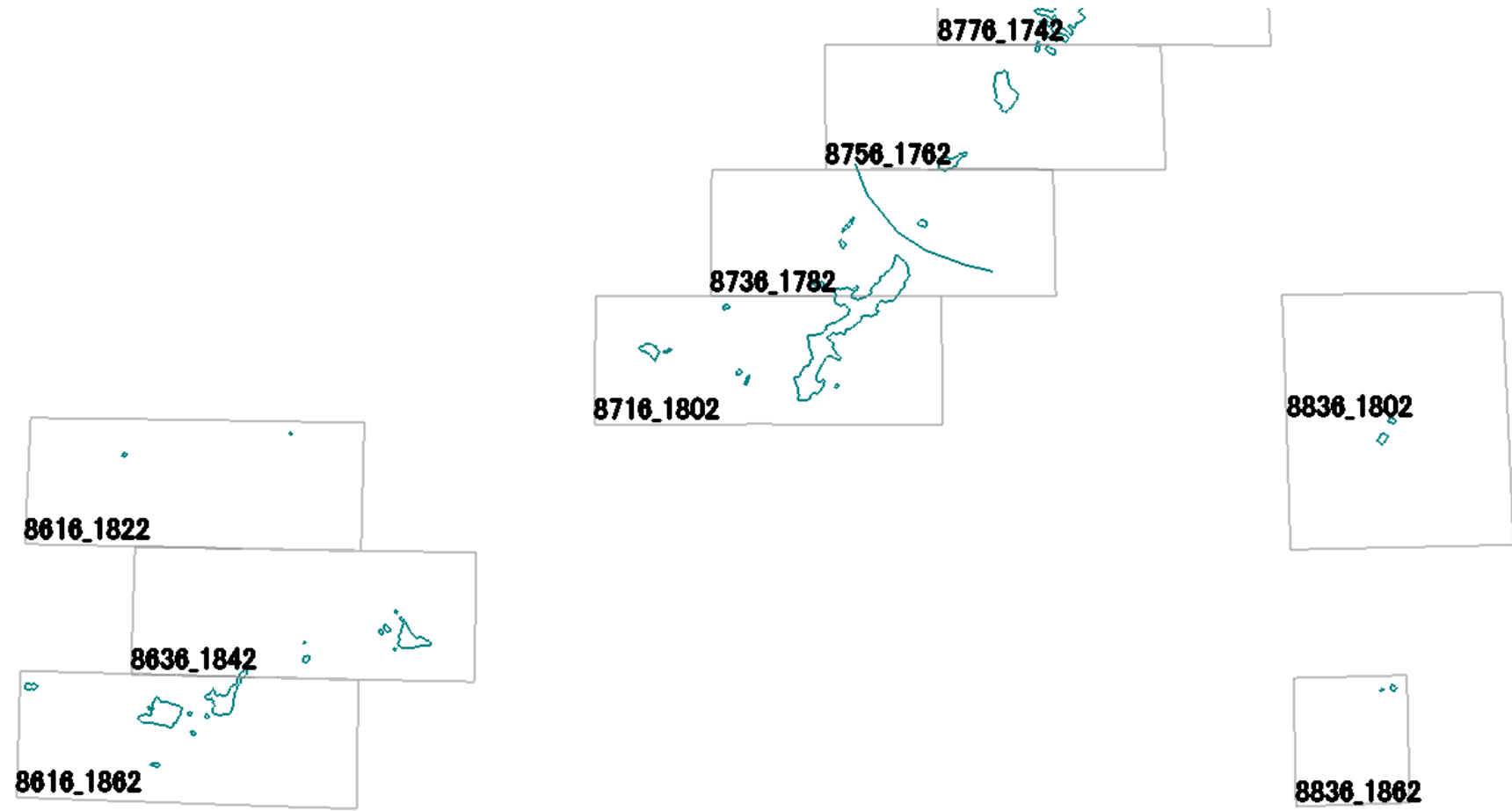


図 3.10 分割エリア 9

4. 操作手順

4.1 地形図インストール手順

(1) 地形図データのダウンロード

CommonMP のダウンロードサイトより、必要なエリアの地形図データをダウンロードし、同一フォルダに解凍します(図 4.1)。

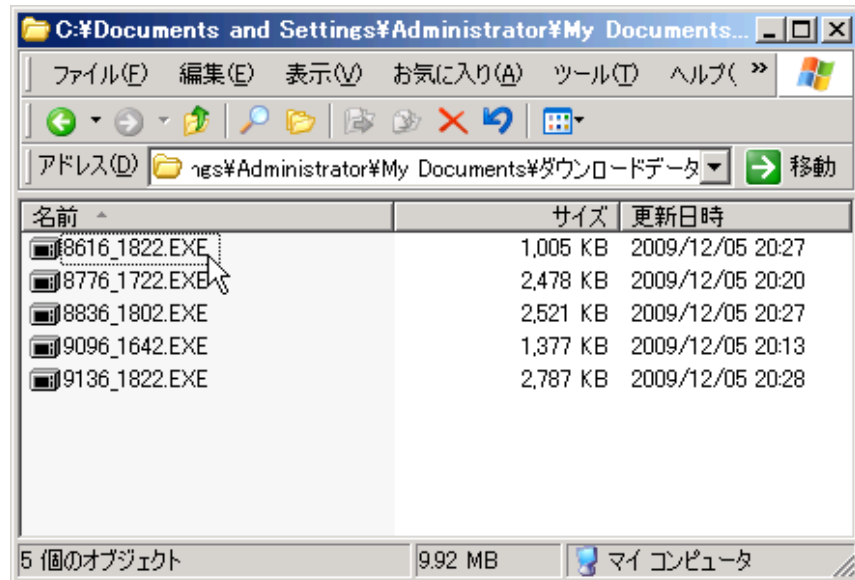


図 4.1 ダウンロードした地形図のデータ

図 3.2 から図 3.10 のエリア「8616_1822」、「8776_1722」、「8836_1802」、「9096_1642」、「9136_1822」をダウンロードし解凍した場合の例を図 4.1 に示します。

(2) 地形図のインストール

ダウンロードしたデータをダブルクリックすると、「地形図のインストール」画面が表示されます(図 4.2)。解凍先のフォルダに、2.2 でインストールした基本地図データのフォルダを指定し、[OK]ボタンをクリックします。

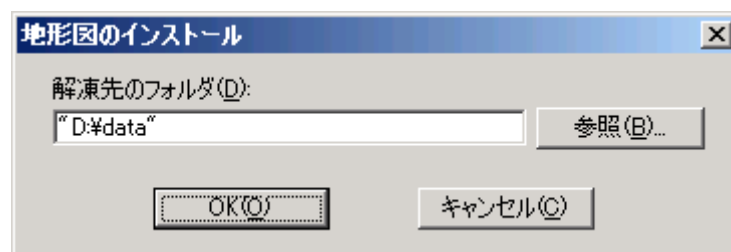


図 4.2 「地形図のインストール」画面

※上図は、d\data に基本地図データがある場合の例です。

[OK]ボタンをクリックすると(図 4.3)が表示されます。画面は、インストールが終了すると自動的に閉じます。

地形図データのインストールは、ダウンロードした全てのデータに対してそれぞれ、実施する必要があります。

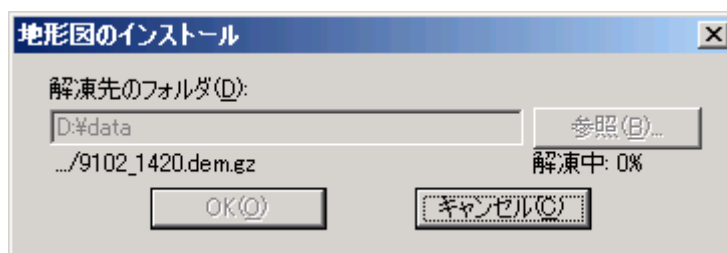


図 4.3 インストール中画面

4.2 設定ファイルの変更

本節で説明する項目は、地形図データをインストールした際、初回のみ実施する必要があります。基本地図データおよび地形図データをインストールしたフォルダ(フォルダ名: data)にある「dataset.ini」をメモ帳等で開き、図 4.4 のアンダーライン部分を追加し、ファイルを保存してください。

```
[dataset]
```

```
basemap/dataset.ini
```

```
i25k/dataset.ini ←この行を追加します。
```

```
[layers]
```

```
世界地図=layers/world.txt
```

```
[layerAssignments]
```

```
default=世界地図
```

図 4.4 設定ファイル(dataset.ini)

4.3 CommonMP-GIS の設定

本節は、CommonMP-GIS の設定について説明します。ご使用の PC ではじめて CommonMP-GIS を起動する場合は本節をお読み下さい。

(1) GIS エンジンの起動

CommonMP 起動後、ツールメニューから「GIS 表示」-「地図表示」を選択します(図 4.5)。

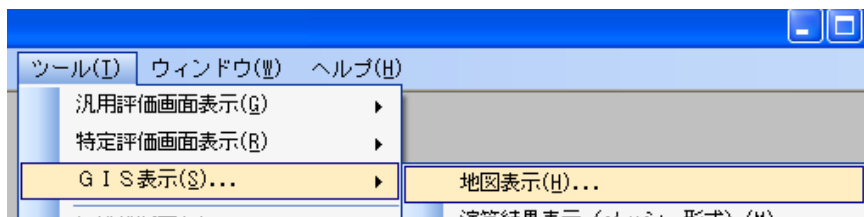


図 4.5 GIS エンジンの起動

(2) データフォルダの設定

図 4.6 の『データフォルダ設定』画面が表示されますので、[...] ボタンを押下して下さい。『フォルダの参照』画面が表示されます。『フォルダの参照』画面で 2.2 にてインストールした基本地図データのフォルダを選択し、[OK] ボタンを押下して下さい(図 4.6)。

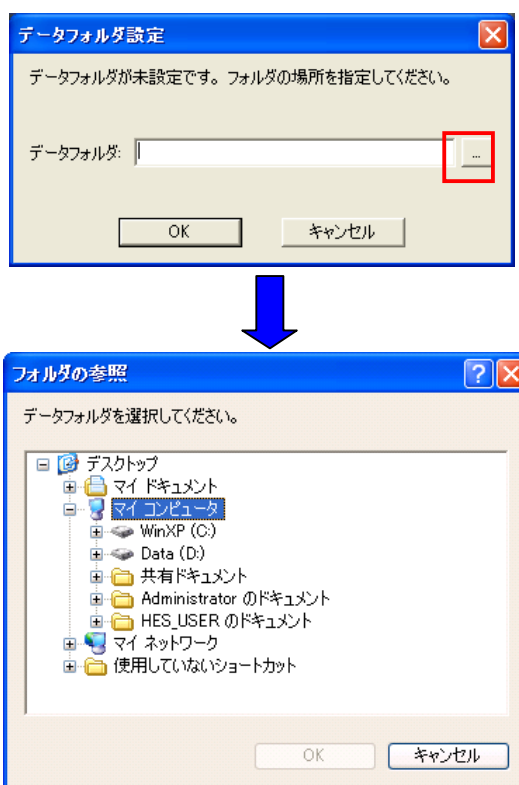


図 4.6 データフォルダの設定

『データフォルダ設定』画面で、基本地図データおよび地形図データが格納されたフォルダ(フォルダ名: data)が設定されていることを確認し、[OK] ボタンを押下して下さい。以上で、データフォルダの設定は完了です(図 4.7)。

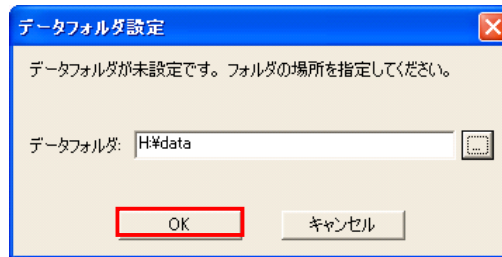


図 4.7 データフォルダの確認

※上図は、H\data に基本地図データがある場合の例です。

(3) ライセンス登録(未登録の場合)

データフォルダの設定を実施後、ライセンスが未登録の場合は、『ライセンス登録』画面が表示されます。[参照]ボタンを押下すると『ファイルを開く』画面が表示されます。『ファイルを開く』画面で CommonMP をダウンロードした際に配布されたライセンスファイル（拡張子 XML）を選択し、[開く]ボタンを押下して下さい(図 4.8)。

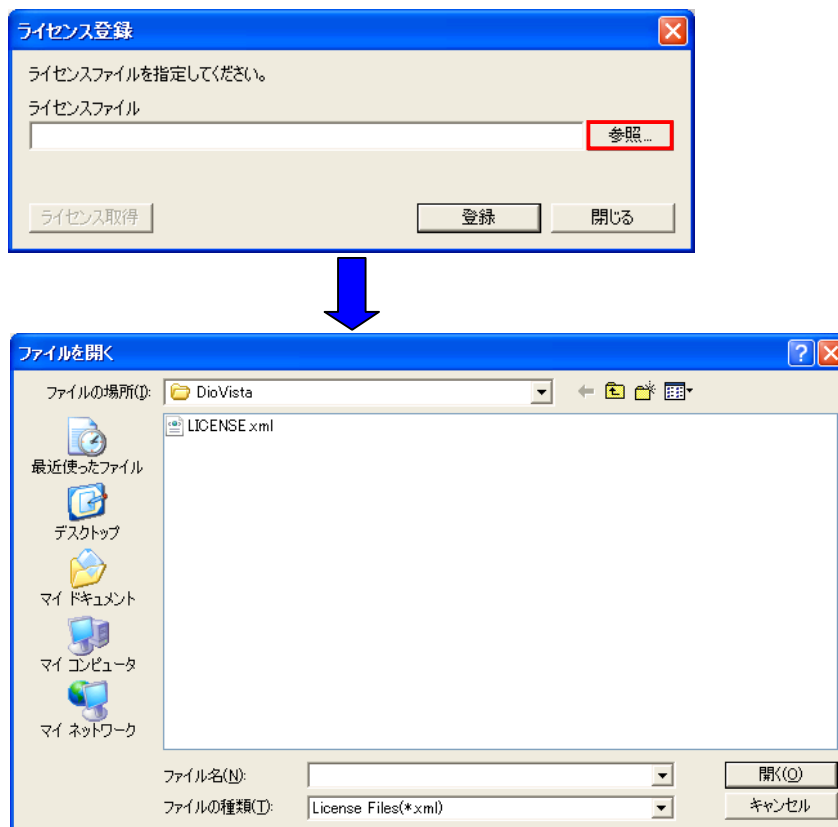


図 4.8 ライセンスファイルの設定

『ライセン登録』画面で、指定したライセンスファイルが指定されていることを確認し、[登録]ボタンを押下して下さい(図 4.9)。以上でライセンスの登録完了です。

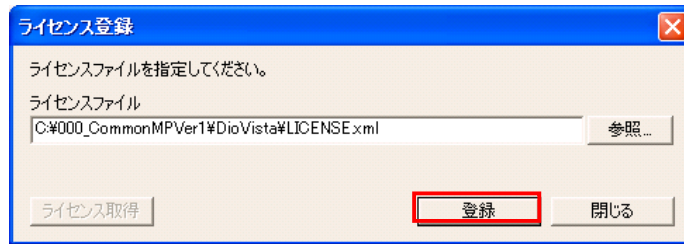


図 4.9 ライセンスファイルの参照先確認

※上図は、C:\¥000_CommonMPVer1¥DioVista にライセンスファイルがある場合の例です。

5. 地図データのアンインストール

お使いの PC のローカルディスクにコピーした地図データを削除したい場合は、2.2 にてインストールした基本地図データのフォルダを手動で削除します。